

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS2333		
科目名	武道論		
担当教員	田中 光輝		
対象学年	2年,3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 1		
講義室	1201	単位区分	選,選必
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門基礎		
科目小分類	専門基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード 学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関係 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP4-F [探究力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP4-I [理解力・分析力] 文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ■CRコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンスルーブリック（CR）との関連 E1 学識と専門技能（10%） F1 研究と根拠（15%） F2 課題解決（15%） I1 理解・分析読解（20%） I2 量的分析（20%） I3 情報分析（20%）		
教員の実務経験	相撲指導者として、高校・大学・社会人選手を対象に武道に関わる指導を行ってきました。本授業では、武道の本質について、これまでの知見と経験を活かして、資料・視聴覚教材を用いて、競技指導に必要なフェアプレー・スポーツ精神について講義します。（第2回・第7回・第8回）		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット：能力開発の目標ステージとの対応 2 進期期 ～ 3 発展期		
科目概要・キーワード	本講義では、武道の発達史、武道の分類と特性、稽古と修行、稽古の内容と方法、形、審判法などについて資料・視聴覚教材等を用いて学習する。さらに、武道の精神性をスポーツとの比較から学習する。これによって武道全般に通底する特性を理解し、武道を広い視野で捉え、自身の競技実践やコーチングに役立てることを目的としています。授業は演習により行います。なお、授業を補完・代替するためオンライン授業（オンデマンド型・ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード 武道精神、歴史、礼法、道		
授業の趣旨	■副題 下記授業テーマ内容につて、武道の発達史、武道の分類と特性、稽古と修行、稽古の内容と方法、形、審判法などについて資料・視聴覚教材等から学び、コーチングに必要な自身の競技の歴史や、フェアプレー・スポーツマンシップの重要性と、スポーツが発展した経緯と現代スポーツの考えを深めましょう。 ■授業の目的 我が国の伝統文化である武道の概念・歴史・特徴等について学習し、積極的に問題解決に取り組み、自身の専門競技でのコーチングに役立つ理論と方法を、理解することを目的とします。 ■授業のポイント 下記授業テーマ内容の資料・視聴覚教材から、自身の競技に役立つよう「授業ノート」を作成し、反省的議論を通じて、フェアプレー精神・スポーツマンシップ精神について考察することになります。		
総合到達目標	■武道の本質と歴史について、基本的知識の運動特性、文化特性、教育特性を正しく理解し、武道及び自身の専門競技のルール・マナーを身に付け、コーチングに役立つ理論を修得する。 ・武道の基本的知識について説明できる。（第1回、第9回、第15回） ・自身の競技及び武道の本質、精神、スポーツの歴史、競技内容の変化と施設について説明できる。（第2回～第6回） ・各競技におけるスポーツマナーやフェアプレーについて、自身の考えを述べるができる。（第7回、第8回） ・学校教育に必要な言葉、ルール、指導方法、スポーツの国際化について説明できる。（第10回～第14回） ・自身の競技及び武道論の内容について討議することができる。（第9回、第15回）		
成績評価方法	■授業内のレポート2回（60%）：適用ルーブリック I1・I2・I3（評価の観点））授業内で実施する授業レポートで、授業内容を理解しているかで評価します。（フィードバック方法）授業時間中に解説を行い、模範解答を示しつつ、関連の知識をおさらいします。 ■リアクションペーパー15回（40%）：適用ルーブリック E1・F1・F2（評価の観点）授業の内容を踏まえて、倫理立てて明確に自分の考えを示せるか、リアクションペーパーで評価します。（フィードバック方法）授業時間中に解説を行い、模範解答を示しつつ、関連の知識をおさらいします。		
履修条件	特にありません。		

履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 武道論について ②授業概要 授業のテーマや内容、スケジュール、評価方法について確認する。武道論の概要やその内容について概観する。自身の競技及び武道への関心を育てる（F 1・E 1）。 ③予習（120分） シラバスを読み、授業内容について準備する。 ④復習（120分） 武道論の概要と内容について、自身の考えを完成させる。
	2	①授業テーマ 武道を学ぶ意義 ②授業概要 武道を学ぶ意義について考える。武道での生命を賭けて何かやりとげようとする精神と、現代武道を考察することで、自身の競技精神に役立てる（I 1・I 2・I 3）。担当教員の実務経験を踏まえて、武道論におけるフェアプレー精神について講義します。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分を調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、武道を学ぶ意義について、自身の考えを完成させる。
	3	①授業テーマ 武道とは何か ②授業概要 武道とは何か。武術はルールの無い殺傷を目的とした術、武道は一定のルールのもとで安全性に留意して行われた特徴について考え、スポーツの歴史と各自の専門競技のルールの誕生などリアクションペーパーにまとめる（I 1・I 2・I 3）。模範解答の説明を含め、スポーツの誕生と各ルールについて復習を行ないます。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、武道と武術との違いを歴史的観点から見て、自身の考えを完成させる。
	4	①授業テーマ 武道・武術の流派 ②授業概要 武道・武術の流派について考える。各流派には独自の手法・様式を共有し、伝承するところに流派及び流儀が成立することなど知り、伝承のあり方と歴史について考察する（I 1・I 2・I 3）。担当教員の実務経験を踏まえて、武道論における技の伝承等について講義します。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、武道・武術の流派について、自身の考えを完成させる。
	5	①授業テーマ 武道のスポーツ化 ②授業概要 武道のスポーツ化を学習を考える。各競技において競技内容が時代とともに変化している内容を捉え、各競技での固有の価値と、今後指導者として充実するために必要な要素についてリアクションペーパーにまとめる（I 1・I 2・I 3）。模範解答の説明を含め、武道のスポーツ化について復習を行ないます。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、武道のスポーツ化について、自身の考えを完成させる。
	6	①授業テーマ 武道の施設・道具（用具） ②授業概要 武道の施設・道具について学習する。実際に各道場（施設）や道具（用具）を見学し、何を目的として存在するものであるかを考える。練習施設と試合施設の比較や用具の必要性など各競技の特徴を考察する（I 1・I 2・I 3）。既存の施設見学となるが、場合によって日本武道館の見学を行うことがあります。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、各道場（施設）や道具（用具）について、自身の考えを完成させる。
	7	①授業テーマ 武道の礼法 ②授業概要 武道の礼法について考える。武道の礼法の基本を体験して、受講者が「礼に始まり礼に終わる」本来の意味を考え、各競技におけるスポーツマナーや日常に役立つ礼法などをリアクションペーパーにまとめる（I 1・I 2・I 3）。担当教員の実務経験を踏まえて、模範解答の説明を含め、武道の礼法や呼吸法と姿勢について講義を行ないます。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、武道の礼法について、自身の考えを完成させる。
	8	①授業テーマ 道の源流 ②授業概要 道の源流を考える。終生修業として確立したのは、武術が文化的な交流を通じて、思想的に発展していった意義と、スポーツ化の変容から「フェアプレー」が受け継がれた道のりを考察し、自身の競技を含め各スポーツの歴史をリアク

	ションペーパーにまとめる（Ⅰ１・Ⅰ２・Ⅰ３）。 担当教員の実務経験を踏まえて、模範解答の説明を含め、武道及びスポーツの道のりについて講義を行ないます。 ③予習（120分） これまで学んだ武道について調べ整理し、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、「道」の源流について、自身の考えを完成させる。
9	①授業テーマ 武道論の中間まとめ ②授業概要 これまで学習してきた武道論について討議会を行い内容を整理して、自分の考えと授業内容をリアクションペーパーで確認する（Ⅰ１・Ⅰ２）。模範解答の説明を含め、フェアプレー精神・スポーツマンシップ精神について復習を行ないます。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） これまでのまとめ及び授業内容を振り返り、自分の考えを再検証するとともに、今後の学習方針に向け自身の考えを完成させる。
10	①授業テーマ 武道の言葉 ②授業概要 武道の言葉について考える。武道に関する言葉や種類（ルーツ）と、自身の競技及び他の競技で、さまざまな場面や目的に合った言葉を抽出し、リアクションペーパーにまとめる（Ⅰ１・Ⅰ２・Ⅰ３）。模範解答の説明を含め、武道及びスポーツの言葉について復習を行ないます。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、武道の言葉について、自身の考えを完成させる。
11	①授業テーマ 武道・格技と学校教育 ②授業概要 武道・格技と学校教育について考える。スポーツ教育での三位一体：「知育・教育・体育」から、自身の競技及びスポーツ指導の要素について、リアクションペーパーにまとめる（Ⅰ１・Ⅰ２・Ⅰ３）。模範解答の説明を含め、学校教育とスポーツについて復習を行ないます。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、武道・格技と学校教育について、自身の考えを完成させる。
12	①授業テーマ 武道の制度（試合・審判） ②授業概要 武道の制度について考える。審判法とルールの特徴や、自身の競技及びスポーツの判定基準などを抽出して、リアクションペーパーにまとめる（Ⅰ１・Ⅰ２・Ⅰ３）。模範解答の説明を含め、各競技のルールと判定基準について復習を行ないます。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、各武道の制度について、自身の考えを完成させる。
13	①授業テーマ 武道の技術体系 ②授業概要 武道の技術体系について考える。受講者が武道の基礎となる礼法及び姿勢の鍛錬法を学習することで、自身の競技指導に役立てる（Ⅰ１・Ⅰ２・Ⅰ３）。担当教員の実務経験を踏まえて、武道の技術体系と鍛錬法について講義します。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、武道の技術体系について、自身の考えを完成させる。
14	①授業テーマ 武道の国際化 ②授業概要 武道の国際化について考える。スポーツの発展と国際化の在り方や、スポーツが直面している課題等を抽出して、リアクションペーパーにまとめる（Ⅰ１・Ⅰ２・Ⅰ３）。模範解答の説明を含め、スポーツの国際化について復習を行ないます。 ③予習（120分） 授業テーマに該当する部分について調べ、確認と準備する。 ④復習（120分） 学習内容を確認して、武道の国際化について、自身の考えを完成させる。
15	①授業テーマ 武道論のまとめ ②授業概要 自身の競技と武道論を広い視野で捉え、討議会を行い内容を整理して、自分の考えと授業内容をリアクションペーパーで確認する（Ⅰ１・Ⅰ２）。模範解答の説明を含め、フェアプレー精神・スポーツマンシップ精神について復習を行ないます。 ③予習（120分） これまでの講義ノートや授業資料を再読し、各回のテーマについて自身の考えや疑問点などについて整理する。 ④復習（120分） これまでのまとめ及び授業内容を振り返り、自分の考えを再検証するとともに、今後の学習方針に向け自身の考えを完成させる。

関連科目	「コーチング学原論 SCS1304」（1 年次前期配当）は、実際のコーチングを扱うものとして、本講と関係します。
教科書	指定しません。
参考書・参考URL	授業時に案内します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 金曜日 2 時限（研究室）。それ以外の時間については、メール等で事前にアポイントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	

